

令和5年第9回函館市教育委員会定例会 会議録

- | | |
|--------|--|
| 1 日 時 | 令和5年(2023年)9月26日(火) 午後1時30分 |
| 2 場 所 | 市役所本庁舎5階教育委員室 |
| 3 出席者 | 藤井教育長, 木村委員, 小葉松委員, 國谷委員, 神田委員 |
| 4 欠席者 | |
| 5 事務局 | 川村生涯学習部長, 小笠原学校教育部長, 横田生涯学習部次長,
宮田生涯学習部次長, 金野教育政策推進室長, 川崎管理課長 |
| 6 傍聴者 | 0人 |
| 7 付議事項 | 別紙議事日程のとおり |

■藤井教育長

- 開会宣言 午後1時30分
- まず, 日程第1, 議事録署名人の指名について, 木村委員, 小葉松委員を選任する。
- 本日の日程のうち, 日程第3, 議案第1号「人事に関し, 議決を求めることについて」から日程第5, 議案第3号「教職員の懲戒処分の内申に関し, 議決を求めることについて」, 日程第9, 報告第3号「教職員の懲戒処分内申の結果について」および日程第10 報告第4号「冷房設備の整備に関する考え方について」を「非公開」としたいが, いかがか。

(異議なし)
- 異議がないので, 「非公開」とする。
- 次に日程第2, 月間事業報告について, 事務局の動きについて報告を求める。

■生涯学習部長

- 9月13日に開会された市議会定例会本会議において, 一般会計補正予算や条例改正など16件の議案が可決, 令和4(2022)年度各会計決算14件が認定された。なお, 議案には, 議案第14号「教育委員会の委員の任命の同意について」が含まれており, 小葉松 洋子委員の再任の同意について可決となった。次に, 一般質問だが, 14日から19日までの3日間で行われ, 17名の質問者のうち, 12名の議員から, 教育委員会に係る質問があった。第3回市議会定例会の質問一覧と教育委員会に対する主な質問と答弁をまとめたものをGoogleドライブにアップロードしているので, 後ほどご覧いただきたい。
- また, この期間において資料に記載のとおり, 参考資料を配付している。

■学校教育部長

- 8月17日だが, 第2回函館市学校部活動の地域連携・地域移行等に関する協議会を開催した。木村委員様におかれてはご出席いただき感謝する。
- 29日だが, 第7回教育委員会臨時会を開催し, 「令和5年度全国学力・学習状況調査「北海道版結果報告書」への市町村別結果の掲載に関し, 議決を求めることについて」議

決をいただいた。なお、本調査の結果概要については、同日参考資料配付しているが、後ほど報告第2号でご説明する。

- 9月23日だが、令和5年度函館市教育振興フォーラムを函館大学において開催し、藤井教育長が「ネット（ゲーム）依存とアウトメディアについて～子どもたちの健やかな成長を願って～」をテーマに講演を行った。木村委員、小葉松委員にはご出席いただき感謝する。

- また、この期間において資料に記載のとおり、参考資料を配付している。

■藤井教育長

- 次に、日程第3、議案第1号「人事に関し、議決を求めることについて、議決を求めることについて」を諮る。

（非公開につき、会議録省略）

■藤井教育長

- 日程第4、議案第2号「職員の処分の決定に関し、議決を求めることについて」を諮る。

（非公開につき、会議録省略）

■藤井教育長

- 日程第5、議案第3号「教職員の懲戒処分の内申に関し、議決を求めることについて」を諮る。

（非公開につき、会議録省略）

■藤井教育長

- 日程第6、議案第4号「令和5年度教育委員会の事務の点検および評価報告書（案）の決定に関し、議決を求めることについて」を諮る。

■学校教育部長

- このたびの教育委員会の事務の点検および評価については、函館市教育振興審議会において3回の点検評価部会、2回の審議会での審議を経て、8月29日付けで答申があったため、点検・評価の結果とあわせて、報告書の最終案として取りまとめたものでその決定に関して議決いただこうとするものだ。

- 函館市教育振興審議会からの答申については、175 ページ以降に掲載している。審議会からは、各事業については市民により一層の周知を図っていくとともにコロナ禍で得られた気づきや経験を活かし、社会の変化などに対応し、常に見直していく必要があるといった意見をいただいている。

- 今後の予定については、議決をいただいた後、市議会全議員に報告書を配付するとともに、教育委員会ホームページへ掲載するなど評価結果を市民へ公表したい。

■藤井教育長

- 議案第4号について何かあるか。

■小葉松委員

- この報告書について異論はない。
- 細かいことだが私が経験したことを共有したい。98 ページ「関係機関や地域と連携し」いろんな学習を実施したとある。関係機関ということなので外部講師に学校に来てもらって授業したということだと思う。私自身、性教育等の講師派遣を子ども未来部からの委託を受けて中学校で実施している。
- 直近で起きた事件として、亀田中学校で毎年各学年1回ずつ出前授業の依頼を受けていて、前年度の2月とか3月に次年度の予定を打診してくるのでその時点で講師を決めて早めに日程調整しているのだが、1回目6月、2回目10月、3回目が2月の予定で今年も日程が入っていた。6月の授業の直前に担当教諭が予定していた日付とこちらとすり合わせていたはずの日程が違っていたということがあった。これは単にケアレスミスだったのだが、2回目のときにも取っていた日程が学校行事とかぶっているということがあった。同じ人が2回ミスするというのはもちろん本人の資質もあるが、外部の交渉をさせるということに対して管理職は1度目のミスで何もフォローしていないのか。さらにその人本人は育休中でいないという。外部団体との交渉にあたって、普通の会社でこれをやると仕事がなくなる。私は管理職の責任かなと思って対応しているが、校長からも教頭からもお詫びの連絡はなく、次に引き継いだ先生が謝っているだけ。外の講師を入れるのであれば、昔は常識という感じだったと思うが、ぽろぽろとこのようなことがある。七飯町でも同じようなことがあって。学校が外と交渉するときの交渉力の劣化が気になる。一応教育委員会の中の事務に含まれるのかなと思ったので校長会等で注意喚起していただきたい。今回の報告書とは関係ないが一応報告する。

■木村委員

- 94 ページ、学校再編についてだが、私はこれに苦労した思いがあるので、今の状況を聞きたい。評価が△ということで、南茅部中学校も無事開校し南茅部は整理がついたが、この評価は進捗が概ね予定どおり、成果が一定程度、課題はやや大きいとある。この課題はやや大きいというのを受けて△になったと思うが、課題はやはり以前と変わらず地域住民の理解が得られないということなのか、それともほかの課題が生じているのか。

■学校教育部長

- 現在6校対応している状況にあり、一つのグループが中部小、中島小、北星小、もう一つのグループが八幡小、万年橋小、千代田小だ。それらがコロナの関係で保護者説明会等ができず中断していたのでそこをもう一回整理している段階だ。そこでなかなか地域の理解が得られないというところが大きな課題だ。

■小葉松委員

- 現状の評価は△だが、南茅部地区の統合に関しては担当職員の方が頑張ってくれて、想定よりも順調に進んだという印象を持っていたので、本当は過去にうまくいったことについては△以上の評価をしてあげたかった。

■木村委員

- 私も実は、これだけやっているのに△というのは、どれだけか課題が大きいのかなと思っただ。

■教育政策推進室長

- 実は審議会からも評価が厳しすぎるのではないかという意見もあった。ただこの再編は平成 24 年度の計画に基づいて進めており、学校教育部長から 2 グループの話があったがそれは平成 28 年度の答申を受けて進めている。そこから年数が経っていることもあり、順調にスピーディに進んでいるかというところでもないので△とした。

■神田委員

- 地域コーディネーターとして地域連携の話で、最近校長や教頭から聞いていて、コーディネーターが配置されて何年か経って、学校が求めるコーディネーター像がだいぶ出来上がってきているのを実感している。何か講座を開くとかそういうことではなくて、学校に寄り添ったコーディネートをしてほしいというのが校長からよく出ているようで、私も今担当している本通中学校、南本通小学校の先生やほかの学校の先生からもそういう話を聞く。

- 小葉松委員からもお話のあった外部講師との連携を取る場合、先生方が取っているのが現状ではあるが、私の例だが、先生は忘れちゃったりということがあって、コーディネーターとして、外部講師や地域の方と何かすることについては私のほうで年間計画を作成しているのでそれに沿ってこちらから先生に声をかけている。管理職とも連携を取りながら、先生方の困りごとの相談をいただいた時点でコーディネーターとして対応しているのが現状である。

- せっかくコーディネーターをつけてコミュニティスクールとして地域と連携しているのであれば、学校が本当に求めているコーディネーターの配置だったり、育成だったり、外部の方にご迷惑をかけないためにもそういった人材が必要なんじゃないかと最近特に実感している。

■藤井教育長

- 議案第 4 号について、原案のとおり決定する。
- 日程第 7，報告第 1 号「函館市指定文化財の所在地の変更について」生涯学習部長から報告を求める。

■生涯学習部長

- 白尻小学校を含む 3 校を統合したことに伴い、白尻小学校で保管していた文化財の所在地について、「弁天島八千代橋の図」を市立函館博物館に、「日米親善人形『メリー』」を南茅部小学校にそれぞれ変更する。

- なお、「弁天島八千代橋の図」については、統合校である南茅部小学校での展示を検討したが、資料保護の観点から原本を市立函館博物館で保管し、複製を南茅部小学校で展示することとした。

■藤井教育長

- 報告第1号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 日程第8, 報告第2号「令和5年度全国学力・学習状況調査結果概要について」学校教育部長から報告を求める。

■学校教育部長

- 今年度は国語, 算数・数学, 英語の3教科が実施され, 質問紙調査等の結果から特に函館市の児童生徒の特徴として考えられる項目について推察される成果と課題について, 4点説明する。1点目は, 授業中に学習用端末を活用する場面が増えていること, 2点目は, いじめは許されないという意識をもつ児童生徒が多いこと, 3点目は, 家庭での学習時間が短く, 学習内容を振り返り, 次の学習につなげることに課題があること, 4点目は, 各教科とも全国や全道の平均正答率に大きな差がなくなってきたが, 引き続き努力が必要であることの4点が特徴として見受けられた。

- 次に, 質問紙調査の結果から見られる成果について説明する。「5年生までに(中学校では1, 2年生のときに)受けた授業でPC, タブレットなどのICT機器を, ほぼ毎日使用した」と回答した児童生徒が小学校で43.1ポイント, 中学校で41.8ポイントと全国・全道と比較して昨年度から引き続き高い傾向にある。また, 学校質問紙において, 学習用端末などICT機器を活用した授業を行っている学校と回答している学校の割合が高い傾向にある。次に, 「いじめは, どんな理由があってもいけないことだと思いますか」と回答した, 児童生徒が小学校で84.3ポイント, 中学校で86.9ポイントと, 高い傾向にある。学校質問紙においても, 児童生徒に対して, 「特別の教科 道徳において, 取り上げる題材を児童生徒自らが自分自身の問題として捉え, 考え, 話し合うような指導の工夫をしている」と回答している学校の割合が高い傾向であり, 一人に一台の学習用端末が整備され, 各学校の効果的な活用が進んでいることやいじめはどんな理由があっても許されないことであるという意識をもつ児童生徒が多いことが成果と考える。教育委員会としては, 今後, 児童生徒が家庭での学習に学習用端末を活用できるよう, 端末を効果的に活用した実践等を紹介し, 一人一人に寄り添ったきめ細かな学習活動の充実を図るよう働きかけていく。また, 引き続き「いじめ等の問題を考える集会」の取組等を通じて, いじめの未然防止, 早期発見・早期対応に努める。

- 2枚目をご覧願う。質問紙調査の結果から見える課題について御説明する。学校の授業時間以外に, 月曜日から金曜日までの間, 1日当たり小学生で1時間以上, 中学生で2時間以上勉強をしている児童生徒の割合は, 小学校で51.0ポイント, 中学校で28.4ポイントと低い傾向にある。「学習した内容について, 分かった点やよく分からなかった点を見直し, 次の学習につなげることができていますか」について, 「当てはまる」と回答した児童生徒の割合は, 小学校で26.4ポイント, 中学校で21.7ポイントと低い傾向にある。児童生徒質問紙の回答と平均正答率の関係では, 学習した内容について, 分かった点やよく分からなかった点を見直し, 次の学習につなげることができていると実感している児童生徒ほど, 平均正答率が高くなる傾向が, 小学校, 中学校の全ての教科で見られる。これらのことから, 学習した内容を児童生徒が自ら見直し, 計画的に学習を進め, 次の学びにつなげることが課題と考える。今後は, 学習指導において, 児童生徒が自ら学習内容を見直し, 振り返る場面を充実したり, 学習用端末を効果的に活用して, 個に応じた思考の保障や, 協働した問題解決の場面を設定したりするなど, 「個別最適な学び」と「協働的な

学び」を一体的に充実し、「主体的・対話的で深い学び」の実現に向けた授業改善を推進していく。また、学習用端末を活用した家庭学習のあり方についても、学校教育指導等において情報提供していきたいと考えている。

- 3枚目をご覧願う。「その他の特徴」として全国と函館市の結果を比較した項目の中から着目したい項目4点について記載している。最後になるが「平均正答数・平均正答率」を記載している。平均正答数で比較すると、全ての教科で、全国との差が0.7ポイント以内となっている。平均正答率で比較すると、全ての教科で、全国との差が5.0ポイント以内となっている。
- この後、さらに詳細な分析を行い、市教委としての取組に生かしていきたいと考えている。

■藤井教育長

- 報告第2号について何かあるか。

(意見なし)

■藤井教育長

- 日程第9, 報告第3号「教職員の懲戒処分内申の結果について」学校教育部長から報告を求める。

(非公開につき, 会議録省略)

■藤井教育長

- 日程第10, 報告第4号「冷房設備の整備に関する考え方について」生涯学習部長から報告を求める。

(非公開につき, 会議録省略)

■藤井教育長

- ここで机上に配付している「縄文世界遺産の情報発信等を行う拠点施設の北海道への要望について」生涯学習部長から説明がある。

■生涯学習部長

- 8月22日(火)に、函館市、函館市商工会議所および道南縄文文化推進協議会の連名で、北海道知事へ縄文世界遺産の情報発信等を行う拠点施設の設置について要望してきたところだ。具体的には、函館市長から鈴木知事に対し、要望書を手交し、「北海道における縄文世界遺産活用に向けた拠点施設を函館市に設置」することについて要望した。
- なお、鈴木知事からは「本年3月に拠点機能のあり方を取りまとめたところであり、これまで構成資産を有する市町などからご意見をうかがってきたが、今日の要望を契機にさらに検討を加速させていければと思う」とのコメントがあった。

■藤井教育長

- 次に、日程第11「今後の主な日程について」管理課長から報告を求める。

■管理課長

- 第10回定例会の日程は、10月24日（火）、場所は南茅部中学校で行うのでご出席願う。内容については統合新設校の見学と教員からお話を伺う。時間は現在調整中だが、概ね12時開始15時40分頃終了予定だ。
- 第11回定例会の日程は、11月6日（月）午後1時30分市役所本庁舎5回教育委員室で行うのでご出席願う。
- その他の行事として、10月8日にJOMON WEEK 2023 世界遺産登録2周年記念はこだて縄文まつり 2023 in 垣ノ島を垣の島遺跡で行う。
- 10月9日（月・祝）2023函館マラソンコミュニティランニングを今年は陸上競技場改修中のためオーシャンスタジアムで行う。今のところ250人程度の参加予定だ。
- 10月22日（日）は、戸井地区で行う道南駅伝競走大会がある。
- なお、お手元に青少年芸術教育奨励事業の書・美術展のご案内を入れているのでお時間があれば見に来ていただければと思う。

■藤井教育長

- これで、報告事項を終了する。

■終了宣言

- 午後2時38分

議事録署名人 木村雅彦

〃 小葉松洋子

調製者庶務係 代嶋亜耶乃